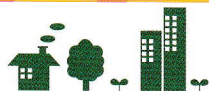


各駅停車

回 覧

社会福祉法人
豊田市福祉事業団
No.54 2025.1.10

～障がいのある方と共生するための情報紙～



地域と共に生きる

～豊田市福祉事業団の取り組み～



豊田市福祉事業団は、子どもの成長をサポートする「豊田市こども発達センター（西山町・和会町）」と、障がいのある方の自立と社会参加を支える「豊田市障がい者総合支援センター（栄町・平芝町・喜多町）」を運営し、障がいのある子どもが生まれ育った地域で、ご家族とともに健やかに育ち、大人になっても安心して暮らせるノーマライゼーション社会の実現を目指しています。

今回は、現在の場所で運営を始めて20年となりました「coffee & bakery ^{ゼ ル コ バ} ZELKOVA」で働く利用者の方のお仕事への思いや、豊田市こども発達センターに長年に渡りご協力をいただいている美容ボランティアの方の活動を紹介します。



coffee & bakery ^{ゼ ル コ バ} ZELKOVA へようこそ

7名の利用者の方が働いている coffee & bakery ^{ゼ ル コ バ} ZELKOVA はけやきワークス（※1）にあるパンと喫茶のお店で、常に約50種類のパンが並んでいます。店内で取り扱っているのはパンだけでなくコーヒーなどの飲み物もあり、地域のお客様でにぎわっています。



みすの さおり
水野 沙織さん

水野さんは喫茶店に17年間働いているベテランのスタッフです。始めた当初は覚えることが多く、失敗して悔しい気持ちになることが多かったですが、いろいろな経験を重ね、今では得意な仕事も増えてきました。水野さんにとってやりがいのある仕事は「プレート出し」です。焼きたてのパンの香りがとてもよく、新作が出たときにお客様にお勧めできるところがやりがいを感じるポイントです。

Q: 働いた工賃は何につかっていますか？

A: 好きなアーティストのライブへ行ったりミュージカルに行ったりしています。友人と買い物に行ったりもしています。

古屋さんは20年間働いているベテランのスタッフで、ベーカリーと喫茶店の仕事を兼務しています。古屋さんが楽しいと感じている仕事はパン生地を丸めたり、焼けたパンにクリームを詰めたりすることです。反対に大変な仕事は、重いトレイやトングを洗うことです。しかし、それはパンがたくさん売れたということなので、大変ですが大事な仕事だと感じています。

Q: 休日はどのように過ごしていますか？

A: 親の会のサークル活動で料理をしたり、ハンドベルの練習や運動、合唱をしたりしています。



ふるや えりな
古屋 衣里奈さん

これからも地域の方の温かさに感謝しながら、お客様との交流を楽しみに、お仕事を続けていきます！

※1 けやきワークス：障がいのある方が作業を通して企業への就職や自立ができるように支援する施設

美容ボランティアさん、いつもありがとう！

豊田市こども発達センターたんぽぽ（※2）へ月1回美容ボランティアに来てくださっている山田英人さん。
やまだ ひでと

『触れられることが苦手なお子さんの髪の毛のカットがとても大変』というご家族の悩みを聞いた山田さんが「髪の毛に触れられること、カットされることに少しずつ慣れてもらい、ご家族の負担が少しでも軽くなれば」「地域の美容院利用の足掛かりになれば」と、たんぽぽに来てくださるようになったことが始まりです。



それ以来27年間続けてくださっています。

生まれて初めて髪の毛をカットするお子さんもいます。慣れず動いたり嫌がったりするお子さんへも優しく話しかけ、素早く丁寧にカットしていただきます。

令和4年度からは美容師仲間の鐘撞邦江さんかねつぐくにえもボランティアに来てくださるようになりました。地域の方の支えによる乳幼児期のこうした経験が、将来のウェルビーイングの向上につながっていると思います。

※2 たんぽぽ：からだや手足の運動機能の発達に支援が必要な0歳から就学前までのお子さんがご家族と一緒に通う施設

美容ボランティアさんを経験してどうでしたか？



初めての美容師さんのカット。ちょっぴりドキドキしましたが、優しく声かけしてもらいながら抱っこで上手にできました。



音に敏感な我が子。バリカン大丈夫かな？と心配しましたが、素早い技術でカットしてもらいました。帰宅後、兄から「カッコよかったね」と褒めてもらいました。



2カ月に1回程度「おまかせ」でお願いしています。トップが斜めに流れる髪質でしたが、落ちついてきたような気が…。美容師さんのハサミは魔法のハサミなのかな。

こどもひろば 託児ボランティア募集！ かわいい笑顔に囲まれながら、 穏やかな時間を過ごしませんか？

こどもひろば託児ボランティア（※3）のおかげで、家族通園の保護者の方は、療育中にお子さんとしっかり向き合うことができ、大きな力をいただいています。やさしいボランティアのみなさんは、子どもたち、保護者の方、こども発達センターにとってかけがえのない存在です。

◆活動場所 豊田市こども発達センター内 こどもひろば（豊田市西山町2-19）

◆活動日時 月曜日～金曜日（祝日除く）10時～12時30分
＊月に1回程度でも構いません。

◆お問合せ 豊田市こども発達センター エビコ海老子（なのはな施設長）
電話（0565）32-8983
FAX（0565）32-8902
Email：nanohana-center@hm.aitai.ne.jp



※3 こどもひろば託児ボランティア：豊田市こども発達センターに通園する子どもたちの兄弟姉妹（概ね0歳から3歳）の託児をしていただける方

編集発行 社会福祉法人 豊田市福祉事業団

ホームページ

<http://www.fukushijigyodan.toyota.aichi.jp>



〒471-0062 豊田市西山町2-19

電話（0565）32-8980

FAX（0565）32-8987

Email：fukushijigyodan@city.toyota.aichi.jp